



校長だより

日中丸



第21号
H30. 11. 26

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

第2回学校保健委員会 11.20(火)

第2回学校保健委員会を開催しました。現 K-1 Fighter で元ムエタイ世界二冠チャンピオンの大和哲也さんを講師にお招きして、「心と身体を一つに使う大切さ!!」というテーマでお話ししていただきました。自然な姿勢の作り方や、自然な姿勢には安定感があることを身体を動かしながら確かめる活動を行いました。心や気持ちと身体には密接な関係があることを学ぶことができました。講演の最後には、ご自身の経験から夢と希望をもって挑戦していくことは大切であることと、そうあってほしいとエールをいただきました。

学校保健委員会の前には、3年生の教室で一緒に給食を食べながら、楽しい時間を過ごしました。



城太郎先生への感謝の会 11.21(水)

「HINT A」の冒頭で、和太鼓演奏の指導をさせていただいている吉村城太郎先生に感謝する会を行いました。3年生は、今日まで3年間熱心にご指導いただきました。代表の生徒からは、和太鼓の演奏や練習を通して、みんなで協力して1つのものを作り上げる喜びや演奏後の達成感を味わうことができたことなど、自分たちの成長について感謝の言葉を話していました。そして、3年生全員で、「日間賀の風」を演奏し、城太郎先生に聴いていただきました。城太郎先生からは、「和太鼓を通して学んだことや感じたことを、これからの生き方に生かしてください。」とお話いただきました。日中生にとって、多くのことを学ぶ場となっていることを感じました。



新井先生研究授業 11.15(木)

1 Aで社会の授業研究を行いました。「鎌倉幕府がおとろえた理由を説明しよう」のめあてを達成するために、絵巻物や教科書を使って、まずは自分で考え、その後グループや学級全体で話し合いました。授業の最後には、「元寇」「恩賞」「徳政令」の3つのキーワードを使って、説明する文を書きました。一人一人が真剣に考え、それぞれの考えを交流しながら、課題解決に向けて学ぶ姿が見られました。



権田先生研究授業 11.19(月)

2 Aで理科の研究授業を行いました。磁石を並べた上に線路を作り電流を流すと、線路に置いたアルミの筒が回り出すという不思議な現象を見ました。その後、アルミの筒を反対向きに転がすにはどうしたらいいのかを、予想し、実験によって確かめました。磁石を反対向きに置いたり電流を反対向きに流したりしながら、それぞれの予想を確かめました。「なんで?」「不思議だな」という現象を見ることで、学習への意欲が高まり、夢中になって調べる姿が見られました。



朝会より 11.19(月)

生徒発表 (11月のテーマ: 私が薦める本について)

北川結唯さん (1年)

私が薦める本は、「太陽みたいなキミ」です。この本は、楽しい学校生活を送っていた女の子が、突然病気が発覚して余命半年と宣告され、ショックを受け絶望していたときに「太陽のような笑顔をくれる男の子」に助けられるお話です。つらいときに助けてくれた友達との友情や、男の子が教えてくれた幸せと命の大切さ、そばで支えてくれる家族の大切さが書かれています。友情、命、家族の大切さを改めて感じることができます。図書館には置いていませんが、読み始めるとスラスラと読んで、たくさんのことが学べる本になっているので、ぜひ読んでみてください。

図書館にはよい本があると思うので、図書館の本も借りて読んでいきたいです。

杉浦早里那さん (2年)

私が薦める本は、「かがみの孤城」です。この本は、辻村深月さんのファンタジー小説です。

学校に行っていない中学1年生の女の子、こころが鏡の中の城に迷い込むところから物語が始まります。読んでいくうちに、こころと周りの人たちとの関係性が変わっていくのがとても印象的でした。また、心に残る場面がたくさん出てきます。例えば、マサムネという男の子が、自分が学校に行っていない理由をこころに打ち明けたところが印象的でした。私もこころと同じ中学生なので、本の中の言葉が自分にも重なる部分があって、とても考えさせられる本だなと思いました。読み終わった後、学校・友達・家族に対する気持ちが少し変わりました。

私は主人公と同じ中学生のときにこの本と出会えてよかったと思います。みなさんも、ぜひ読んでみてください。